健康でより豊かな食生活に貢献

証券コード 2612



金かどや製油株式会社 2013年3月期 決算説明会

決算概要について 2013年5月30日(木) 取締役執行役員管理部長 戸倉 章博



決算概要について

- 1. 会社概要
- 2.2013年3月期 決算概要
- 3.2014年3月期 事業計画



1. 会社概要

畲

会社プロフィール(2013年3月31日現在)

◇所在地 本社:東京都品川区

◇創業 1858年(安政5年)

◇設立 1957年(昭和32年)5月2日

◇代表者 取締役社長 小澤 二郎

◇資本金 21億60百万円

◇株主数 6,619名

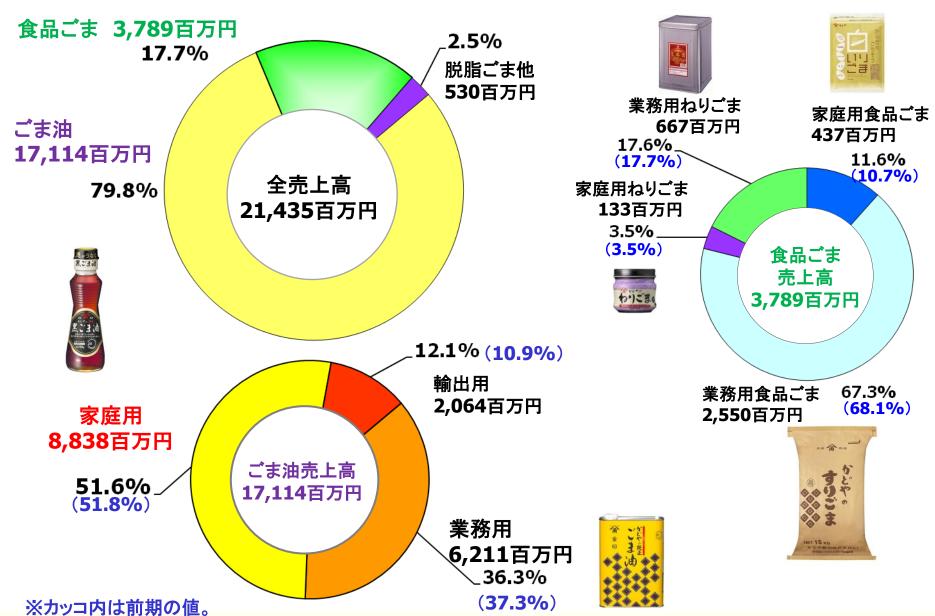
◇従業員数 275名

◇事業所 本社、工場、

4支店、3営業所、1事業所



商品別、用途別売上高 (2013年3月期)





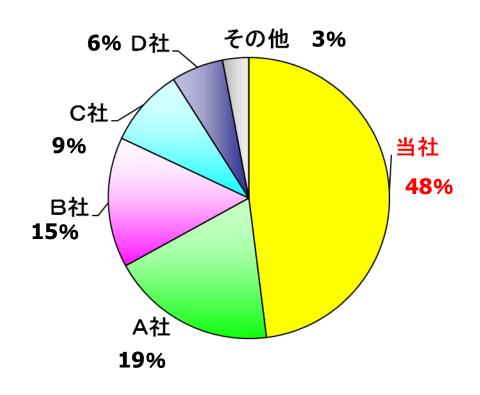
シェア状況

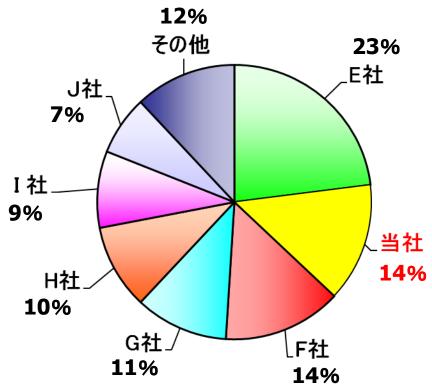
ごま油(2012年1~12月売上高)

市場規模:約320億円

食品ごま(2011年1~12月売上高)

市場規模:約280億円





上記数値は【㈱富士経済】調査による



2. 2013年3月期 決算概要

角

2013年3月期 決算の概要

V - V						
(単位:百万円)	12年2日知	12年2日#1	前期比		増減要因	
(年位・日7月)	12年3月期	13年3月期	増減金額	増減率	垣 似女 囚	
売 上 高	21,366 ごま油 17,024 食品ごま 3,881 脱脂ごま他 461	21,435 ごま油 17,114 食品ごま 3,789 脱脂ごま他 530	68 ごま油 90 食品ごま △91 脱脂ごま他 69	0.3%	くごま油 販売金額微増> 販売数量・・・家庭用、業務用は微増。 輸出用は6.6%の増加。 販売価格・・・家庭用・業務用とも価格は下落したが 輸出用は円安もあり3.9%増加。 <(食品ごま 販売金額微減> 販売数量・・・前期比微減。 販売価格・・・前期比微減。	
売上原価	11,945	12,094	149	1.2%	・ごま油販売数量増 約1.1億円 ・円安による原料購入価格アップ	
販 管 費	6,814	7,063	249	3.6%	- 家庭用ごま油の販売促進費 約2億円増加	
営業利益	2,606	2,277	△329	△12.6%		
〈利益率〉	〈12.2%〉	〈10.6% 〉				
経常利益	2,611	2,537	△73	△2.7%		
〈利益率〉	〈12.2%〉	〈11.8%〉				
当期純利益	1,439	1,545	106	7.3%		
〈利益率〉	〈6.7%〉	〈7.2 %〉				

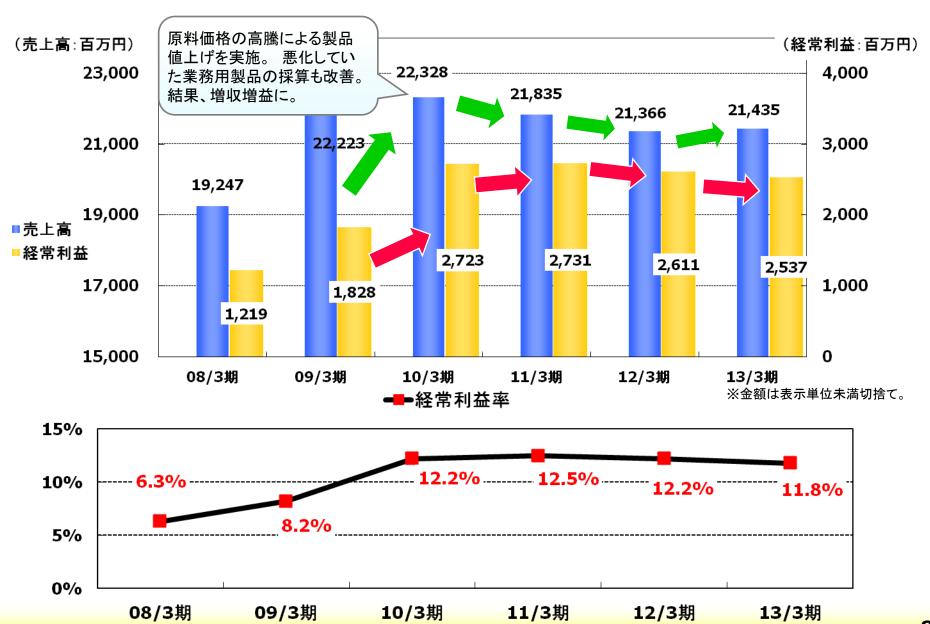
【為替】 原価計上レート¥/\$ 決済レート¥/\$

80円

83円 81円 ※ 金額は表示単位未満切捨て。



2013年3月期 売上高、経常利益、経常利益率の推移





貸借対照表

		12年2日期	╈╬╙	42/T2 F #0	╈╬╙	前期末比				
(単位:百万円)				12年3月期 構成比 13年3月期 期末 (%) 期末		構成比 (%)	増減金額	増減率		
資	産									
	■ ii	流動?	資産		16,540	71.3	17,411	72.6	870	5.2%
	■ [2	司定:	資産		6,661	28.7	6,568	27.4	△92	△1.3%
資	産	1	合	計	23,201	100.0	23,979	100.0	778	3.3%
負	債									
	■ 汀	流動 :	負債		4,194	18.1	3,825	16.0	△369	△8.8%
	■ [3	国定:	負債		812	3.5	820	3.4	8	1.0%
負	債	1	合	計	5,006	21.6	4,645	19.4	△361	△7.2%
純	資	産	合	計	18,194	78.4	19,334	80.6	1,139	6.2%
負	債・純	資	産 合	計	23,201	100.0	23,979	100.0	778	3.3%

[※] 金額は表示単位未満切捨て。



3. 2014年3月期 事業計画



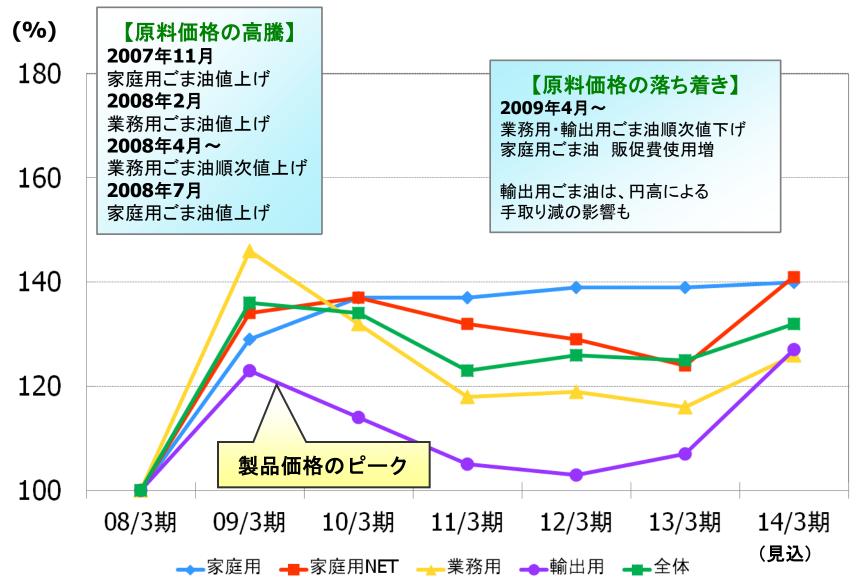
13/3期比較の14/3月期 事業計画

(単位:	13年3月期	14年3月期	前期比		増減要因		
百万円)	実績	予想	増減金額	増減率	上,一个人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的人的		
売上高	21,435 ごま油 17,114 食品ごま 3,789 脱脂ごま他 530	22,600 ごま油 17,980 食品ごま 4,000 脱脂ごま他 620	1,165 ごま油 865 食品ごま 210 脱脂ごま他 89	5.4%	く売上高増 約12億円> (NET約20億円) 家庭用ごま油:約3千万円減 業務用ごま油:約4億2千万円増 輸出用ごま油:約4億7千万円増 食品ごま他:約3億円増		
営業利益 〈利益率〉	2,277 〈10.6%〉	2,150 〈9.5%〉	△127	△5.6%	* 家庭用ごま油の実質価格は 拡売条件費でコントロール 拡売条件費:約8億円減 →家庭用ごま油NET:約7億7千万円増 <売上原価増 約23億円>		
経常利益 〈利益率〉	2,537 〈11.8%〉	2,150 〈9.5%〉	△387	△15.3%	原材料費:約26億円増 <営業利益減 約1億円> 販売経費:約10億円減		
当期純利益 〈利益率〉	1,545 〈7.2%〉	1,250 〈5.5%〉	△295	△19.1%	* 拡売条件費含む		

通期想定為替レート¥/\$ 93円 為替レート1円変動による損益への影響額 約50百万円



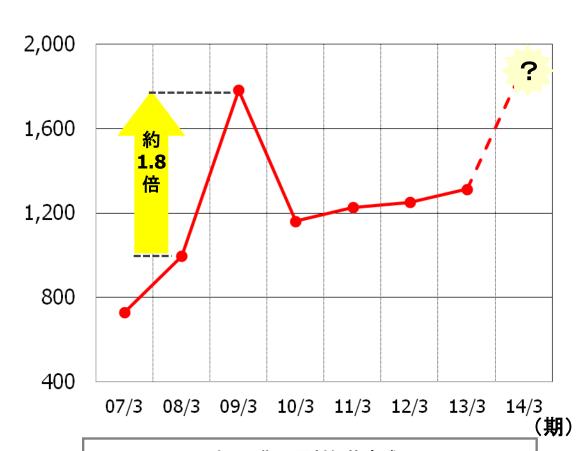
ごま油平均単価の推移



※2008年3月期の価格を100とする。



当社搾油用原料価格の動向(年度平均)



<2009年3月期の原料価格高騰の要因>

- ① バイオエタノール原料の需要増で トウモロコシ・大豆価格高騰の煽り
- ② 中国・中東の旺盛な買い
- ③ 瞬間的に売り手市場となり、約2,500ドル/トンでの取引もなされ、まとまった量の確保が困難な局面も

<2014年3月期の見通し>

世界三大産地のインド、ミャンマー、中国において、いずれも早魃等の天候要因で減産となり、特に今まで輸出国であったインドが一時的とは言えアフリカ等から、一気に価格は暴騰し、2,000ドル/トンを超えるレベルとなった。

現在は東アフリカ産(タンザニア/モザンビーク)収穫期前の端境期で、マーケットが冷静になった事もあり、2,000トル/トンを割れる取引も見られるが、同地域産は中国が好んで購入し、ここ数年シーズンが始まると価格が上昇する傾向にある事から、再度2,000トル/トン以上になる見通しである。

食品用原料についても搾油用原料高騰の影響を受け上昇している。

波乱要因 : 中国等の急激な買付

他穀物価格の高騰 天候不順による減産 生産国の政情不安